

1-6 多文化共生・国際交流



施策の方針

外国籍住民の増加と定住化が進む中、身近な地域社会でも異文化に接する機会が増えており、地域に暮らすすべての人が多様な価値観を認め合いながら、支え合い、共に地域づくりをしていく「多文化共生社会」の実現をめざします。

国際化の進展に伴い、市民の国際交流活動も広がりを見せる中、国際感覚に優れた人づくり、まちづくりや、国際性に富んだ地域社会を形成していく取組を推進します。

現状と課題

- 国際関係が協調の時代へと移行する中で、国際社会における日本の役割は、政治・経済・文化などあらゆる面で大きくなっています。人・物・情報の国際的な結びつきは、ますます速く、広く、ち密になっています。
- 市内に住む外国人が地域の一員として安心した生活ができるよう、生活実態を把握し、必要な支援を続けていく必要があります。とりわけ、防災や医療など緊急時において外国籍住民が不便を感じないような対策を行っていくことが課題となっています。
- 在住外国人が増加する中で、国籍を問わず、共通のコミュニケーション言語として、「やさしい日本語」を介したコミュニケーションの普及や交流を図り、相互理解の促進に努めることが必要となっています。
- 社会経済や文化のグローバル化、ボーダレス化の進展とともに、市民の国際感覚の醸成や異文化交流など、国際理解や国際交流の推進に向けた取組を進める必要があります。
- 幼少期から、外国語によるコミュニケーション能力向上を目的とした取組（ハローイングリッシュプロジェクト事業等）を進めてきましたが、一定の成果があらわれつつあり、将来的な取組についても、改めて検討していくことが必要となっています。
- 本市は昭和50年（1975年）に米国ハワイ州のカウアイ郡と姉妹都市提携を行ったのをはじめ、平成元年（1989年）には米国ミシガン州のエイドリアン市と、平成3年（1991年）には大韓民国忠清南道（チョンチヨンナムド）の公州（コンジュ）市と姉妹都市提携を行い、使節団による相互交流や市内中学生による教育交流などを通じて友好親善と国際理解の推進を図ってきました。今後も、各姉妹都市との交流を通じ、国際理解を深める取組を進めていくことが必要です。

主要施策

項目	施策名	施策の概要
多文化共生社会の推進	多文化理解促進活動	多文化理解促進に向けた意識啓発
	外国籍住民に配慮した環境整備	・生活ガイドブックなど各種資料の多言語版作成 ・防災体験イベントや生活相談体制などの充実 ・やさしい日本語の普及・啓発
国際理解を深める教育内容の充実	学校教育の充実	・中学生海外派遣事業の実施 ・英語教育・国際理解教育の推進（幼・保・こども園・小・中学校）
	地域に開かれた学校づくり	・学校支援ボランティア登録の推進
国際交流の推進	国際交流推進活動	・海外姉妹都市との交流促進 ・次世代を担う若年層の国際意識の醸成
国際理解の推進	人材の育成	・国際理解を深めるための学習会の実施

「『わ』で輝かせよう」への取組

- ・地域の祭りや行事に外国籍住民も参加しやすい環境づくりをしよう
- ・他文化を経験した市民の経験を他の人に伝える機会をつくろう
- ・子どもに外国語を教えるボランティアを増やし、未来を担う人材を育てよう
- ・市民中心の国際交流の活性化を図ろう
- ・姉妹都市間の交流をはじめ、国際交流を支えるボランティアに参加しよう

5年後の目標（成果指標・活動指標）

指標名	単位	現状値	目標値	備考
		令和元年度	令和7年度	
多文化共生を支えるボランティア数	人	97	110	
国際交流促進事業への参加者数	人	439	1,000	

【関係課・室】 市民協働課、学校教育課
【関連計画等】 第2期守山市教育行政大綱（令和元年度～令和4年度）



ハローイングリッシュプロジェクト事業